

## 事務事業評価シート

事業番号	2					
事業名	市民ロビー相模大野負担金	局名	総務局			
		部名	総務部			
事業開始年度	平成元年度	課名	総務法制課			
根拠法令等	市民ロビー相模大野の負担金に係る覚書	課長名	隠田展一			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施					
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者： _____）					
	<input type="checkbox"/> 補助金（補助先： _____）					
	<input checked="" type="checkbox"/> その他（負担金の支出 _____）					
事業概要	目的 (何のために)	市民ロビー相模大野の公共歩廊部分の維持管理等				
	対象 (誰・何を対象に)	市民ロビー相模大野を管理する公益財団法人相模原市都市整備公社(以下「都市整備公社」という。)に対して負担金を支出				
	事業内容 (手段・手法など)	毎年5月に都市整備公社に対し負担金を支出しており、公共歩廊部分の清掃、昇降施設保守点検及び光熱費等の維持管理費等に充てられている。				
	事業の必要性	市民ロビー相模大野は、都市整備公社が市の要請に基づき建設、取得した施設であり、市民文化の高揚を図ることを目的として設置された公益性の高い施設である。公共歩廊は、利用者が施設へ出入りするための通路として利用されるほか、相模大野駅北口と女子大通りをつなぐ動線として市民に利用されており、その公共空間としての役割を考慮し、必要な範囲での負担金の支出は必要と考える。				
コスト			平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
	事業費(直接経費)		11,881 千円	11,881 千円	11,881 千円	
	人件費	正規職員	従事者数	人	人	人
			概算人件費	0 千円	0 千円	0 千円
		嘱託職員・ 臨時職員等	従事者数	人	人	人
			概算人件費	千円	千円	千円
	人件費 合計		0 千円	0 千円	0 千円	
	総事業費		11,881 千円	11,881 千円	11,881 千円	
市民一人あたりの事業費		0.02 千円	0.02 千円	0.02 千円		

		平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度予算	
財源内訳	国・県支出金	千円	千円	千円	
	受益者負担金	千円	千円	千円	
	その他( )	千円	千円	千円	
	一般財源	11,881 千円	11,881 千円	11,881 千円	
平成23年度 事業費の 主な内訳 (人件費を除く)	項目			金額	
	市民ロビー相模大野負担金			11,881 千円	
	-----			千円	
	-----			千円	
活動実績1	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	相模大野ギャラリー入場者数(公共歩廊部分通行者数)	人	31,030	23,144	28,000
単位当たりコスト1	(総事業費/活動指標)	千円	0.4	0.5	0.4
活動実績2	活動指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
単位当たりコスト2	(総事業費/活動指標)				
成果目標 (現状の成果及び 今後どのようにした いか、定量的な評 価で示す)	市民からの苦情や要望等が出されないよう、負担金の支出を通じ、公共歩廊部分を安全かつ快適な状態で市民の利用に供する。				
成果実績	成果指標名	単位	H21年度実績	H22年度実績	H23年度見込
	市民からの苦情・要望等の件数	件	0	0	0
特記事項 (事業の沿革等)					
事業の自己評価 (今後の事業の方 向性、課題等)	公共歩廊については、これまで事故や不具合等が発生することなく市民の利用に供されており、負担金支出の成果は得られているものと考えている。 平成15年度において、負担金の対象範囲から市民ロビー一部分を除外し、公共歩廊部分のみとする見直しを行っており、都市整備公社が市民ロビー相模大野を取得した経緯及び公共歩廊部分の高い公益性を踏まえ、引き続き必要な範囲で負担金の支出を行っていく。				
評 価	《評価の視点》	・ 必要性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		・ 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	
	《評価の区分》	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 再構築 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡充			
	《評価区分の理由》	都市整備公社への負担金は、公共空間としての役割や市民利用の観点から必要と考える。ただし、負担金の額については、平成15年度の見直しから9年を経過するため、その妥当性について再度見直すことが必要である。			
H24年度 予算への反映	負担金の額の妥当性を再度検証し、現状の負担金額 11,881千円を上限に、予算を計上する。				
経営評価委員会 による意見	○見直し 金額の根拠及び負担の理由づけを明確に示した上で、負担金の額を見直すことが必要である。				